

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1	<p>地域密着型サービスとしての理念</p> <p>地域の中でその人らしく暮らしていくことを支えていくサービスとして、事業所独自の理念を作り上げている。</p>	<p>ゆっくり自然にあったかホーム笑顔笑顔そして笑顔の理念の下で、ゆったりとのんびり生活してもらい地域住民との交流の機会を持ち、アットホームで笑いの耐えないグループホームを目指し、気軽に立ち寄ってもらえるようなホームを作り上げていけるよう心がけている</p>	<p>○</p> <p>区民会館の催しや、老人会、また、近隣の幼稚園等も、もっと積極的に働きかけて、交流の場を持ちたいと考えている</p>
2	<p>理念の共有と日々の取り組み</p> <p>管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる。</p>	<p>個別ケアを考える上で、またケア統一を話し合う中で、理念に触れられるようにしている。</p>	<p>○</p> <p>ともすれば笑顔を絶やす事があるので、日々笑顔を絶やさないように心がけている</p>
3	<p>家族や地域への理念の浸透</p> <p>事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる。</p>	<p>家族へのたよりを活用したり、地域のイベントへ参加したりしている</p>	
2. 地域との支えあい			
4	<p>隣近所とのつきあい</p> <p>管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている。</p>	<p>ホーム周辺の散歩の機会を多くし、近隣の方と挨拶したり、時には立ち話す事もある</p>	<p>○</p> <p>もっと密接なつながりができるように、町内の催しなど参加していきたい</p>
5	<p>地域とのつきあい</p> <p>事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。</p>	<p>回覧板の案内で確認、盆踊り他、できるだけ参加できるようにしている</p>	<p>○</p> <p>積極的に参加していきたい。町内の役員の方と相談していこうと思っている</p>
6	<p>事業者の力を活かした地域貢献</p> <p>利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。</p>	<p>地域主催の研修会があれば、傘下の機会を設けるなどしている</p>	<p>○</p> <p>このような視点からの地域参加もあるという事を、職員全員で理解し、検討していきたい</p>

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる。</p>	<p>自己評価、外部評価の結果をミーティング時報告し、改善点について話し合っている</p>	○	<p>自己評価、及び、外部評価の改善すべき点を重視し、速やかに改善していきたいと思っている</p>
8	<p>運営推進介護を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。</p>	<p>現在の取り組みを報告、その中での意見や報告等参考に、サービス向上に役立てている</p>	○	<p>もっと気軽に意見ができるような雰囲気を作ることが必要かと思う。また、内容等も一本調子にならぬよう変化をつけながら進めていきたい。</p>
9	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会を作り、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる。</p>	<p>問題点や、相談事がある場合は気軽に役所に行ったり、電話したりできるような体制がある。また、包括支援センターにも気軽に行ける状況</p>	○	<p>普段の時でも、もっと気軽に立ち寄り、話をしたいと思う</p>
10	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している。</p>	<p>一部の職員は理解できている。成年後見制度については支援する用意がある</p>	○	<p>全職員ができるよう機会を設けたい</p>
11	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがない要注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>ホームとして、虐待防止を掲げており、職員に浸透している</p>	○	<p>徹底して虐待廃止を継続していきたい</p>
4. 理念を実践するための体制				
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>説明の際には、十分な時間と場を設けるよう配慮している。また、文書に残すようにしている</p>	○	<p>より具体的で、分かり易い説明を心がける事が必要と思っている。相手側からの解約の要望があった場合は、十分にその理由を聞き、以後の参考にしたい</p>

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
13 運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	日々、コミュニケーションをとる中で、気軽に言葉にできるような環境や関係作りに取り組んでいる。廊下に苦情相談を掲示し、気軽に苦情や意見が言える体制になっている		
14 家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている。	特変あるいは、ちょっとした状態の変化があれば、その都度連絡し、日々の様子などに関しては、月1回の新聞等で報告している	○	新聞をもっと充実させ、家族に、より詳細に報告したいと思っている
15 運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情等を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。	廊下に苦情相談を掲示し、気軽に相談できるようにしている。また面会時などでも、できるだけコミュニケーションをとるよう心がけている		
16 運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	会議の場を設け意見交換をしている。また管理者、事業主に対しても気軽に意見で言えるような環境に心がけている	○	毎朝の申し送りに中でも意見交換がある
17 柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保する為の話し合いや勤務の調整に努めている。	レクあるいは、外出等状況に応じて、馴染みの職員が付添うなど、要望に副えるような勤務体制作りをしている		
18 職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている。	職員が継続して勤務しやすいよう心がけている。異動に関しては、極力ないようにしている。異動、離職がある際には、混乱等ないように説明、配慮している	○	できるだけ離職がないよう、本人の意見や相談ができるよう体制を整えたい

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
5. 人材の育成と支援				
19	<p>職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>段階に応じた内容の研修、講習への参加や、日々の指導を心がけている。カンファ等の時も、必要に応じた社内研修を行うよう心がけている。</p>	○	<p>職員のスキルアップの為に、自らが研修に臨めるような環境を整えて行きたい。できるだけ研修(有料・無料含)を受けさせたいと思っている。</p>
20	<p>同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワーク作りや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>	<p>地域のグループホーム間での見学など行っている。また、近隣の有料老人ホーム等との交流も考えている。</p>	○	<p>同業者との交流をもっと深めて行きたい。同じ区内だけでなく、他の区との交流の機会を持ちたい。</p>
21	<p>職員のストレス軽減に向けた取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる。</p>	<p>運営者と職員が気軽に話や相談が出来ている。また、時に飲み会等開いている</p>		
22	<p>向上心をもって働き続けるための取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めている。</p>	<p>個々の努力や勤務状況を把握して、市の研修や講習等を優先的に受けるように努めている</p>		
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	<p>初期に築く本人との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居の相談があった時は本人の生活状態を把握し、実際に本人と面談する事で心身の状態など理解できるようにしている</p>		
24	<p>初期に築く家族との信頼関係</p> <p>相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受け止める努力をしている。</p>	<p>入居の相談があった時は、面談の機会を設け、これまでの経緯、家族の希望などを確認している</p>		

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいき きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
25 初期対応の見極めと支援 相談を受けたときに、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	相談時には、本人と家族の現在の状況や思いを確認し、必要なサービスを提供できるように努めている		
26 馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している。	本人、家族が入居前に見学し、職員やホームの雰囲気に馴染める機会を設けたり、入居後、本人が馴染むまで家族や安心できる方に面会に来てもらえるようにしている	○	本人がその場に本当に馴染んでいるか、もっと詳細な目で見て行きたい。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援			
27 本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている。	外出や家事など、一緒に行う事で、コミュニケーションを密にとれるようにしている	○	家族のような雰囲気の中で、しっかりケジメをつけた対応をしていきたい。本人の話を忍耐強くもっと聞けるように努力しなければと思っている
28 本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている。	面会の際には、日々の様子や小さな変化など伝え、理解と信頼を得られるよう努めている		
29 本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、よりよい関係が築いていけるように支援している。	日常生活の様子や、本人の話していた事など伝え、面会の機会を増えていくように努めている		
30 馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	本人の要望があれば、電話・手紙の代行、友人宅への訪問等、外出の際の送迎など支援している		

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
31 利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている。	お互い理解し合い、快く生活できるよう職員が間に入ったり、取り持つようにしている	○	利用者同士のトラブルも時々あるが、もっとスムーズに解決できるよう速やかに間に入るなどして、努力していきたい
32 関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている。	終了後も相談、要望等あれば応じるようにしている		
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33 思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ケアプランに表したり、日々の会話の中で意向を確認、実施している	○	100%意向に副えていない時もあり、極力副えるよう努力していきたい
34 これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	以前の生活と変わらないよう、要望や意見等を聞き、出来る限り対応できるよう工夫している	○	以前と全く同じ生活環境と言う訳にはいかないが、極力副えるよう努力していきたい
35 暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている。	朝、夕の申し送りの際、事細かく様子を伝え、個別の対応を話し合い、実践していくよう心がけている	○	一人ひとりの状況を適確に判断できるよう努力していきたい
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36 チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイディアを反映した介護計画を作成している。	介護支援専門員の意見をもとに、本人の希望、家族等の意見を取り入れ、地域との関わりを関連づけた介護計画を作るよう心がけている	○	長期にならぬよう、できるだけ柔軟性をもたせ、本人の状態の変化に対応できるよう臨機応変に対応できるよう心がけていきたい

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
37 現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、介護支援専門員の適切な監理のもとに、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している。	定期的介護計画の見直しの他、細めにモニタリングをして、必要であれば介護計画の見直し等を行っている		
38 個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに生かしている。	個別の記録を見直し、日々の生活状況がもっと具体的に理解できるよう、そして実践できるよう心がけている	○	具体的な様子を分かるような書き方、内容にしていきたい
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている。	状況に応じ、通院、その他の送迎等日々変化する状況に応じ、臨機応変にサービス提供できるよう心がけている	○	1Fホール等をもっと利用して、利用者・家族・職員との交流を深めていきたい
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している。	本人の希望や必要性に応じ、地域資源との連携や支援を受けられるよう心がけている。町内の民生委員や、副支部長には気軽に相談にのっていただいている	○	ボランティアとの交流を密にしていきたいと思っている
41 他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネージャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用する為の支援をしている。	本人の希望に応じ、訪問理美容のサービスが受けられるよう支援している。また、他のサービス等の相談にもものっている	○	もっと幅広い情報が必要と感じている。他のグループホームや、その他の機関等とも交流を深めていきたい
42 地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している。	必要性に応じ、包括支援センターとは、相談したり意見等を支援し合っている。	○	運営推進会議だけでなく、もっと気軽に意見、相談等ができる関係になればと思っている

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
43 かかりつけ医の受診支援 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	毎週、週1度訪問診療の際、利用者の健康について、小さな事でも相談し、また、そこから医者へと連携体制ができています	○	協力機関の医師だけでなく、地域の医療機関とも密接な関係を築き、気軽に相談できたらと思っている
44 認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している。	協力医療機関の医師と相談しながら、専門医の紹介を受けたり、受診したりしている	○	もっと幅広い分野の専門医と連携をとり、協力関係を築いて行きたいと思っている
45 看護職との協働 事業所として看護職員を確保している又は、利用者をよく知る看護職あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている。	協力病院からの月2回の往診以外に、毎週訪問診療にて協力頂いている。また、すぐ近くにも協力の病院があり、気軽に相談等行っている		
46 早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している。	入院時には、本人に関する情報提供したり、現状を確認したりしている。家族とも連絡をとり、情報交換を行っている	○	入院等の病院の指示に従う事が多く、ことから積極的に働きかけて行きたい
47 重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している。	状況や状態の変化に応じ、その都度機会を設け、細めに相談・検討している	○	現実的には、不完全な状態であると思う。今後の重要な課題と考えられている。早急に考えて行きたい
48 重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている。	変化を見逃さぬよう、日々観察、相談を密にして、全職員で方向性を検討している。また、主治医とも相談の上、本人の今後について検討していくようにしている	○	本人の希望、家族の希望を第一に考え、医者と相談しながら、ホームとしてどこまでできるか検討していきたい

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
49 住替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居宅へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住替えによるダメージを防ぐことに努めている。	関係先と十分な情報交換を行い、移り住んだ場所で本人の不安が極力ないよう対応している	<input type="radio"/>	住み替え先との情報交換等について、どこまで公開したら良いかわからない部分もあるが、関係者によく話し合い、対応していきたい
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 1. その人らしい暮らしの支援 (1) 一人ひとりの尊重			
50 プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取扱いをしていない。	記録に関しては個人個人で分けるようにし、一人ひとりに合った言葉かけや対応をするように心がけている		
51 利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや記号を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている。	理念に基づき、本人が決める場面作りを心がけている。本人の希望をできるだけ取り入れ尊重するよう心がけている	<input type="radio"/>	何をしたいか、どこか行きたい所はないか、なるべく本人の口から希望を言えるよう接しているつもりである。これからも継続していきたい
52 日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの生活のペースを大切に考え、買い物や外出などなるべく希望に副えるよう対応している	<input type="radio"/>	できるだけ本人の希望に副うようになっているが、どうしてもできない場合は本人に説明して、理解してもらっている
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53 身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、利用・美容は本人の望む店に行けるように努めている。	本人希望の理髪店へ行っている。できるだけ買い物など、外出もし、本人の希望によっては化粧等、お洒落もしながら外出している		
54 食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員がその人に合わせて、一緒に準備や食事、片付けをしている。	出来ることや、希望があれば、協力願うようになっている。また、本人の好みも聞き入れるようになっている。100%とまではいかないが、できるだけ希望に副うようになっている	<input type="radio"/>	好きな物、食べたい物とか好みは分かっているのだが、それほど多くは出してあげられていないので、もう少し多くしてあげたい

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
55 本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、タバコ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している。	医師の制限がない限り、本人の希望に合わせて楽しみの一つにできるようにしている		
56 気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している。	排泄に関しては、さりげない対応を心がけている。極力おむつを使用しないよう自分の力でできるよう支援している。		
57 入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している。	希望があれば必ず入浴の意思確認をしている		
58 安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している。	本人が好きな時に、休息できるよう居室、居間、食堂など、居心地のいい空間になるように整備している	○	特に居間はみんな集まり、安らぎの場となっているので、アットホームな雰囲気を保ち続けていきたい
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている。	何が好きで何が嫌いかわかり、バランスの良い日常生活を考えて、送れるよう心がけている。出来ることはご協力願、本人の力を引き出せるようにしている	○	出来るだけ多くの人に協力してもらいたいため、その人に何が出来るか、細かなところまで見極めていきたい。
60 お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。	本人の希望や、能力に応じた範囲での所持金にしている。ある程度自分で所持したり、あるいは、その都度必要最小限を渡して使ってもらったり、能力に応じて対応している	○	買い物には必ず付添い、無駄使いをしないよう注意しながら買い物をしてもらっている

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んで きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
61 日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している。	希望に応じ外出、買い物など行っている。散歩や公園、ペットショップ等、天気の良い日はできるだけ出かけるようにしている	○	100%希望に応えられていないが、天気のいい日はできるだけ外出を心がけている。車椅子の利用者も、希望があれば車で外出している
62 普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが言ってみない普段はいけないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している。	山へのハイキングや、魚釣り等希望があれば事前に予定を組み、行っている。	○	車で遠出のドライブ等も行っているが、中々家族と一緒にというのが少なく、できるだけ家族も参加してもらえよう働きかけていきたい
63 電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している。	代筆や本人に代わって用件を伝えるなどしている		
64 家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している。	面会時にはゆっくりと過ごして頂けるよう1Fのホールを使ってもらったり時には事務所等も使って貰ったり、配慮している		
(4)安心と安全を支える支援			
65 身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	基本的に身体不拘束の方針で取り組んでいる	○	より徹底し、具体的にどの程度までが拘束に入るか話し合っ行ってきたい。
66 鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる。	見回りを多くする、行動を事前に予測するなど、様々な予防・工夫をしている		

NPO法人 福祉サービス評価機構Kネット

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
<p>67 利用者の安全確認</p> <p>職員は、プライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している。</p>	<p>日中の所在確認や、声掛け、夜間の巡回を通して見回りを行っている</p>	<p>○</p>	<p>事故防止のためにも、より徹底していきたい</p>
<p>68 注意の必要な物品の保管・管理</p> <p>注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている。</p>	<p>カーペット、家具など、購入時にアドバイスをしたり、刃物、針など本人のレベルに合わせ、預かるなどしている</p>		
<p>69 事故防止のための取り組み</p> <p>転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐ為の知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる。</p>	<p>刃物、洗剤等は見えないところへ、また目の届きにくい所での物音には、すぐの様子を見に行く等対応している。居室の扉にチャイムをつける、見守り、見守り回数を増やすなど、個別に応じた対応を行っている。</p>	<p>○</p>	<p>実施している内容を継続し、よりきめ細かな対応を心がけていきたい</p>
<p>70 急変や自己発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている。</p>	<p>1部職員は応急処置対策等理解している。消防訓練時やマニュアル化するなどしている</p>	<p>○</p>	<p>応急処置など、時間が経つと忘れがちなので、定期的にホーム内で実施していきたい。全職員が理解できるよう対応していきたい</p>
<p>71 災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている。</p>	<p>避難訓練を年1回利用者と共にしている。</p>	<p>○</p>	<p>地域の人々との避難訓練がまだ行っていないので、協力してやっていきたい。防災についての対応を、もう一度確認していきたい。(避難場所等)</p>
<p>72 リスク対応に関する家族との話し合い</p> <p>一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている。</p>	<p>予測できる自湖や、様々な事柄については、家族に伝え、相談している。</p>	<p>○</p>	<p>時間が経つと、一人ひとりの状態も変わっていくので、その状態に応じ、細やかな説明をしていきたい</p>

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている。	毎日の血圧、体温チェックの中で変化や異変に気づいた場合は、職員同士、また管理者、場合によっては直接協力機関の医師と連絡を取り対応している		
74 服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。	一人ひとりが薬の用途、用法を理解している。王神事の医師の診断を記録し、処方の変更があれば申し送るようにしている	○	薬についてもっと深い知識を身につけようになりたい
75 便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけに取り組んでいる。	排泄のチェック表にて確認し、原因を調べ適切に対応できるよう心がけている。	○	一人ひとりの状態に合わせて、水分を多く取ったり、細かく刻んだりして対応していきたい
76 口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている。	個人に合わせた口腔ケアの促し方を行っている	○	継続してやっていきたい
77 栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	食事摂取量や、水分摂取量は日々の個人の記録に残し、申し送り時や、職員同士の連絡時に話し合い対応している	○	申し送りの際に、細かいチェックをしている。より徹底していきたい。
78 感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症のマニュアルがあり、定期的なカンファの中でも取り入れている	○	より徹底して職員一人ひとりに浸透させたい。感染予防策の具体的提示が必要だと考えている
79 食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている。	調理器具等は、定期的に漂白したり、食材の消費期限のチェックを行っている。特に、夏場の生ものについては、細かくチェックしている。	○	台所周辺は常に清潔に保つ事を心がけている。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組んでいきたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり (1)居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている。	見やすく分かり易い表現にしたり、装飾などを行っている。花を植え、常にきれいに保つよう心がけている。	○	季節の花等を飾ったり、常にきれいに心がけている。継続していきたい
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用にとって不快な音や光がないように配慮し、生活観や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	限られた空間の中で、季節感を味わえるように四季毎の装飾を行っている。	○	共用部分については特に清潔に保つよう心がけている
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、一人になれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	空間は限られているが、特に制限なく自由に使用できるように開放している。居間ではくつろげるよう配慮している。		
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使いなれたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	持ち込む家具類に制限はないので、個々に好みの物を持ってきて使用している。使い慣れたものを使ってもらい希望に副ようにしている	○	常に清潔に、また、整理整頓し、きれいに保つよう心がけている。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないように配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている。	掃除の際の換気や、食事前など、居間が空く時間に必ず換気するようにしている	○	温・湿度計を置き、日常的にチェックをし、窓の開閉等細めに行っている

項目	取り組みの事実 (実施している内容 ・ 実施していない内容)	印 (取組んでい きたい項目)	取組んでいきたい内容 (既に取組んでいることも含む)	
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	<p>身体機能を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活を送れるように工夫している。</p>	<p>廊下、トイレ、浴室内に手摺りを設置したり、車椅子でスムーズに通れるように、廊下に物を置かないで、居間を広くするなど工夫している</p>	○	<p>居室もできるだけ広く使ってもらえるよう、車椅子等も入っていけるよう工夫している。体力維持のためにも、歩行訓練等ももっとできるよう取り組んでいきたい</p>
86	<p>わかる力を活かした環境づくり</p> <p>一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している。</p>	<p>大幅な模様替えはしない。トイレ、浴室など表札にするなど、分かり易い作りになっている</p>		
87	<p>建物の外回りや空間の活用</p> <p>建物の外回りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている。</p>	<p>中庭の空間を活かし、プランターで園芸を行っている。また、物干しを置き利用者が能力に応じ楽しみながら、洗濯物を干したりしている</p>		

. サービスの成果に関する項目	
項目	取り組みの成果
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある 毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿が見られている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている ほぼ全ての利用者 利用者の2 / 3くらい 利用者の1 / 3くらい ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています ほぼ全ての家族 家族の2 / 3くらい 家族の1 / 3くらい ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている ほぼ毎日のように 数日に1回程度 たまに ほとんどない

サービスの成果に関する項目		
	項目	取り組みの成果
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている。	大いに増えている 少しずつ増えている あまり増えていない 全くいない
98	職員は、生き生きと働けている	ほぼ全ての職員が 職員の2/3くらいが 職員の1/3くらいが ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が 家族等の2/3くらいが 家族等の1/3くらいが ほとんどいない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(日々の実践の中で事業所として力を入れて取り組んでいる点・アピールしたい点等を自由記載)
一人ひとりの利用者が満足して生活しているか、また、何が足りてないか、家族がどのようなサービスを、どのような生活を望んでいるかを理解し、100%までとはいかないまでも、ホームとしてどこまでやれるか、やれるところを実践していくよう心がけている